

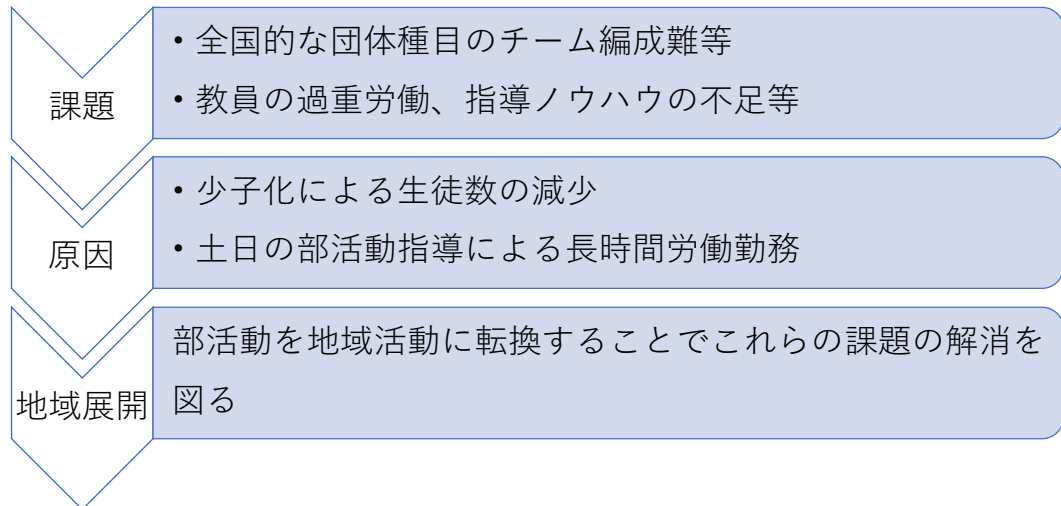
広陵町

休日の部活動地域展開に関する
保護者説明会

令和8年2月13日 / 令和8年2月14日

広陵町教育委員会

1. 地域展開となった経緯



これまで部活動は教員が指導を行うことを前提に運営されてきましたが少子化や教員の働き方改革等の影響を受け将来的に実施が困難になることが見込まれています。

部活動の実施ができなくなることに伴い生徒のスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会が減少することを防ぐために地域全体で関係者が連携して幅広い活動の機会を保障しようとする取り組みが部活動の地域展開です。

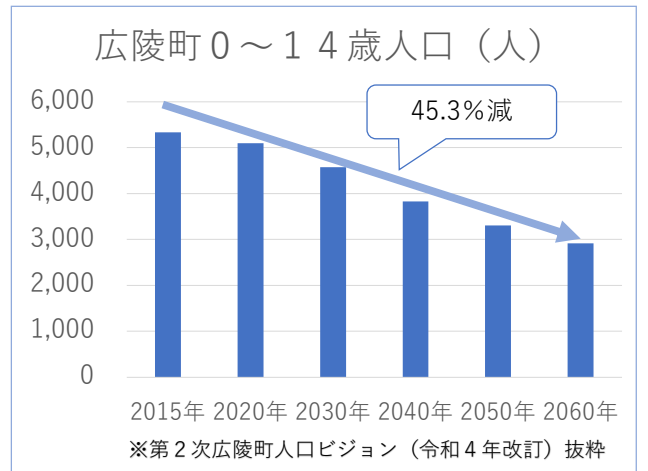
奈良県は令和8年度から休日における教員の指導による学校部活動を廃止すると方針を定めており、これを受け本町でも現在行われている部活動のうち休日に実施しているものについて、令和8年度から地域クラブへ転換を行うことを決定しました。

1. 地域展開となった経緯

少子化による生徒数の減少

将来的な広陵町若齢人口の減少

第2次広陵町人口ビジョンによると、町内の0歳から14歳の人口は2060年には2,915人となり5,332人であった2015年と比べ45.3%の減少が見込まれています。



グラフは、第二次広陵町人口ビジョンに記載の、本町における0歳から14歳までの人口推計をまとめたものです。本町においても少子化の傾向は顕著であり、2015年に5,332人であった子どもの人口は2060年には2,915人にまで落ち込む予想となっており45.3%の減少が見込まれています。

少子化の進行は、団体競技のチーム編成が困難になることや、個人競技についても普段の練習相手の不足等の原因となります。

1. 地域展開となった経緯

教員の長時間労働

教員の働き方改革

中学校教諭の1週間当たりの勤務時間は持ち帰りを含めると約60時間45分であり、1か月当たりの時間外勤務時間は約67時間となっています。

※文部科学省 令和4年度教員勤務実態調査（確定値）参考



教員の部活動指導による負担を軽減し、教育の質の向上を図ります。

全国的に教員の長時間労働は課題となっており、本町においても中学校教諭の1か月あたりの時間外勤務時間は約67時間と国のガイドラインで示されている45時間を大きく上回っている状況です。

教員の過重労働の要因の1つに部活動指導があると言われており、部活動指導による負担を軽減することで本来業務である教育の質の向上が図れると考えられています。

2. 広陵町の今後の方向性

奈良県の方針のもと、令和8年度から土日に実施している学校部活動を地域クラブ活動に転換します。

部活動の活動時間

【令和8年3月まで】							【令和8年4月から】								
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
学校部活動							学校部活動							地域クラブ活動	

※ 学校部活動は原則平日のみになり、土日は希望者が地域クラブ活動に参加することになります。

令和8年の3月までは月曜日から日曜日までの間に実施するすべての活動を学校管理下で部活動として実施しますが、令和8年の4月以降は月曜日から金曜日までの間に実施する活動を部活動とし、土曜日と日曜日に実施する活動は地域クラブ活動に転換します。

地域クラブ活動は学校管理下の活動ではなくなるため、4月以降の土日の活動では学校部活動で負った怪我の治療に適用されていたスポーツ振興センターの災害共済給付制度の適用対象外となり新たに保険に加入する必要があります。

広陵町では、地域クラブ活動に参加いただく際はスポーツ安全保険に加入いただく方針を定めています。

2. 広陵町の今後の方向性

地域クラブ活動について

対 象 者	： 町立中学校に在籍する生徒です
指 導 者	： 地域の指導者や教員（希望者のみ）等 ※指導に当たっては、1種目につき最低2名の指導者を配置します
活 動 日	： 土曜日または日曜日のうち週1日（1月当たり4回程度） ※大会参加等やむを得ない場合を除く
活 動 時 間	： 1日当たり3時間以内
活 動 場 所	： 中学校敷地内（原則）
参 加 費	： 月額2,000円
最低活動人数	： 7人（7人未満になった場合は、学校を統合します）
指導開始時期	： 5月（予定）

地域クラブに参加できる対象者は、町立中学校に在籍する生徒とし、指導は地域から募集した指導者または、地域クラブへの指導者登録を希望した教員等が行います。

指導体制は、1種目につき最低2名の指導者が指導にあたるようになっています。

活動日は、部活動のガイドラインに則り土曜日または日曜日のうち1日で1月あたり4回程度とし、1日の活動時間は3時間程度としています。

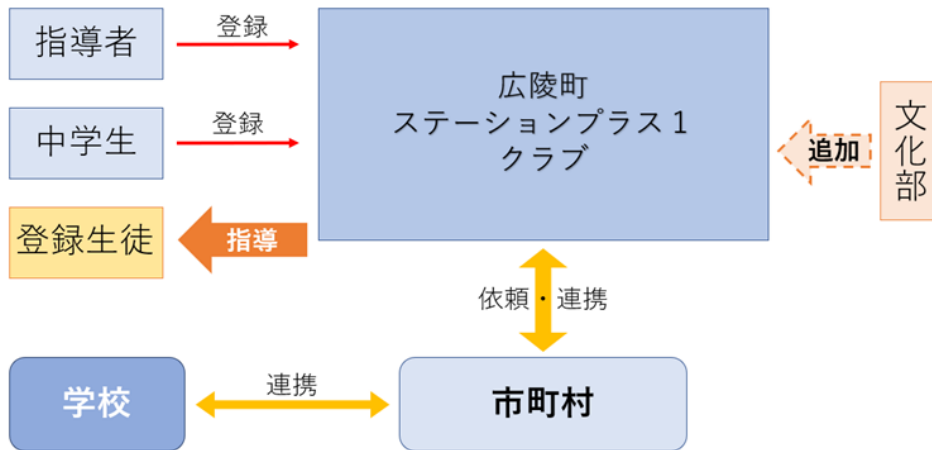
活動場所については、基本的に部活動を行っている場所をそのまま使用する想定です。

参加費については、生徒1人あたり月額2,000円とさせていただいております。参加費等を可能な限り低廉なものとし、活動を継続させていくために1種目あたりの最低参加人数を7人と設定させていただきます。参加生徒数が7人未満となった種目は学校を統合して活動し、翌年度募集時に参加生徒が7人未満だった場合は活動を休止します。

また、指導者の研修等の時間確保のため令和8年度については、5月から活動開始とさせていただきます。

2. 広陵町の今後の方向性

【地域展開後の活動体制イメージ】



※平日の活動は学校部活動として継続します

広陵町では、地域展開後の受け皿として総合型スポーツクラブであるステーションプラス1クラブに協力を依頼しており、文化部を含めた部活動の指導者をステーションプラス1クラブに登録することで体制を整備しています。

2. 広陵町の今後の方向性

部活動地域展開の目的

- ① 上級生、下級生との縦のつながりの場の確保
- ② スポーツ、文化芸術活動に親しむ機会の確保

地域展開により多様な活動が可能になります

	平日（学校部活動）	休日（地域クラブ）	備 考
パターン1	野球	野球	同じ種目で活動する
パターン2	野球	サッカー	違う種目で活動する
パターン3	野球	活動しない	平日のみ活動する
パターン4	活動しない	野球	休日のみ活動する
パターン5	活動しない	活動しない	平日も休日も活動しない

※ 地域クラブでは、他校区の活動に参加可能です（在籍校に同一の活動がない場合に限る）

部活動の地域展開を行う目的は大きく2つあり、1つが先輩後輩の関係等を学べる縦のつながりの場の確保、もう一つがスポーツ、文化芸術活動に親しむ機会の確保です。

また、地域展開を行うことで平日とは違う活動を休日にすることや、平日や休日のみ活動する等の選択が可能になります。

さらに、休日の地域クラブ活動では他校でしか実施していない種目の活動にも参加が可能になります。

3. 令和8年度の体制

指導者の確保について

種目	活動校	部員数 (参考)	指導者数	
			目標人数	応募人数
野球	広陵	20	2	2
	真美	10	2	
ソフトボール	広陵	11	2	5
サッカー	広陵	28	2	15
	真美	13	2	
バスケット (男子)	広陵	15	2	3
	真美	27	2	
バスケット (女子)	広陵	16	2	3
	真美	12	2	
バレーボール	広陵	18	2	5
	真美	20	2	
バドミントン	真美	19	2	4

種目	活動校	部員数 (参考)	指導者数	
			目標人数	応募人数
ソフトテニス (男子)	広陵	26	2	10
	真美	20	2	
ソフトテニス (女子)	広陵	32	2	10
陸上競技	広陵	39	2	3
水泳	広陵	15	2	0
柔道	広陵	3	2	0
吹奏楽	広陵	36	2	5
合唱	広陵	3	2	3
	真美	12	2	
美術	広陵	33	2	1
	真美	14	2	

これは地域クラブの指導者を確保するために設置した広陵町指導候補者人材バンクの現在の登録状況です。

左から種目名、活動予定の学校、参考値としての現在の部員数、指導者確保の目標数、現在のバンク登録者数を記載しています。

ステーションプラス1クラブへの指導者登録はバンクに登録いただいた方に対して教育委員会で面談を実施し、合意形成ができた場合に行うこととなります。

3. 令和8年度の体制

指導者の確保について

バンクに指導者登録がある活動: 21名の登録者に対して面談を実施。
3月上旬までに人材バンク登録者に対して順次面談を実施予定。

バンクに指導者登録がない活動: 地域で活動している既存のクラブ等に希望する生徒を受入れてもらえるよう協力を依頼する予定。

現在バンクに登録いただいている方については、3月上旬までに順次面談を実施する予定であり、現状21人の面談が完了しています。

バンクに指導者の登録がない活動については、ステーションプラス1クラブ以外の地域で活動しているクラブ等に受け皿となっていただけるよう協力を依頼する予定です。

3. 令和8年度の体制

参加希望生徒の募集について

令和8年4月に新中学校1・2・3年生を対象に地域クラブ参加希望生徒の募集を行います。

①広陵中学校、真美ヶ丘中学校の両方で実施する種目は、学校ごとのクラブで参加生徒を募集します。

※ 2校分の指導者が確保できなかった場合は、合同で募集を行います。

②どちらかの中学校だけで実施する種目は、合同で参加生徒を募集します。

※ 令和8年度の募集時は参加希望生徒が7人に満たなかった種目も1年間は活動を行います。

※ 指導者が確保できなかった種目は参加生徒の募集を行いません。

地域クラブ参加希望生徒の募集方法について説明させていただきます。

募集は令和8年4月に1・2・3年生に対して一斉に行う予定です。

広陵中学校と真美ヶ丘中学校の両方で実施する種目については、学校ごとに募集を行い、どちらかの中学校だけで実施する種目については、学校合同で生徒の募集を行います。

また、令和7年度中に今中学校の部活動に在籍している生徒に対して、地域クラブ活動参加への意向調査を行う予定です。

3. 令和8年度の体制

大会参加について

【奈良県の方針】

①学校部活動として参加

②地域クラブとして参加

どちらでも参加可能

※中学校教員は原則として土日の部活動指導を行うことができないため、大会引率する場合は週休日の振替が必要

【広陵町の方針】

原則は地域クラブから参加とし、最終的な決定は学校部活動と地域クラブ活動の状況を総合的に判断し決定します。

奈良県の方針では、大会への参加は学校部活動と地域クラブのどちらでも可能となっています。ただし、学校部活動として参加する場合は、教員は土日に部活動指導を行えないため、平日に週休日の振替を行う必要があります。

これを受け、本町では原則として地域クラブから大会に参加することとし、最終的に学校部活動と地域クラブのどちらで大会参加するかは、双方の状況を総合的に判断し決定することとしています。

指導者確保ご協力をお願い

地域クラブ運営をより円滑化し、事業の持続性を確保するため広陵町教育委員会では人材バンクへ登録いただける指導候補者を募集しています。
子どもたちの活動の機会確保のためにご協力をよろしくお願いいたします。

部活動地域展開ホームページURL:

<https://www.town.koryo.nara.jp/0000007645.html>

人材バンクURL:

<https://logoform.jp/f/UxdIq>



最後になりますが、広陵町教育委員会では地域クラブの運営を円滑化し、事業の持続性を確保するため人材バンクに登録いただける指導候補者を募集しています。

子ども達の活動の機会確保のためにご協力いただける方が周りにいらっしゃれば、人材バンクへ登録いただければ幸いです。

人材バンクの詳細は、資料に記載のURLや二次元バーコードからご確認いただけます。